

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 金沢市立額小学校 ] 担当教諭名 [ 岩井 隆昌 ] ( 6年1組 32名 )

交流相手国 [ アメリカ ]

海外学校名 [ Orange Grove Middle Magnet School of the Arts ] 担当教諭名 [ Patricia Casanova ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢を知り 日本を知り 世界を知ろう	40

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	地域の文化(お祭り)
絵に込めたメッセージ	お互いの地域を紹介することで、お互いの文化を知り、理解し合おう。お互いが理解することで、平和を目指そう。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
子ども達一人一人がアイデアを出し合い、自分たちでそのアイデアをまとめることができたこと。そして、お互いが協力して色をぬれたこと。	相手学校の返事が無く、教師も含めてモチベーションが下がってしまった。相手学校とのコミュニケーションによる合同作品ではなくなったこと。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
学級通信で絵を描いている様子や完成品を披露した。卒業式で絵を飾った。	素敵な絵でしたと声をかけていただいた

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	6月	金沢星陵大学から清水先生・学生さんをお呼びして、ワークショップをしてもらう。 日本の祭りについて調べまとめる。	「もし正解が100人の村だったら」のワークショップを通して、世界の現状に目を向け、世界と繋がることに関心を高めることができた。	総合8
情報収集	9月	英語の自己紹介と、英文化した学校紹介と日本のお祭り紹介を、VTRyはパワーポイントにまとめて、掲示板やYouTubeにのせた。	英語で伝えることに最初は緊張していたが、それぞれに工夫があり、意欲的に活動していた。きっと、アメリカからの反応を楽しみにしていたのだと思う	総合15
テーマ検討	10月 11月	下書きをかいいて、掲示板に提案 相手校から返信無し クラス内や他のクラスからのアドバイスで、デザインを決定	まずはグループに分かれて、自分たちが伝えたいお祭りと、全体の構図の2点を考えさせるところ、どのグループも大変意欲的に取り組み、候補がなかなか絞られなかった。	総合8
制作	12月	グループごとにわかれて絵を制作	一人ひとりが楽しそうに描いていた。色1つにしてもグループで話し合い、自分一人ではなく、グループとして満足のいく作品に仕上げようと意識していた。	総合7
鑑賞	3月	共同制作した絵の鑑賞	アメリカ側がこちらの意図をくみとってデザインしてくれたことに喜んでいて。アメリカの絵から、どんなお祭りがあるのか考えようとしていた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:あまり重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	石川のお祭りと全国のお祭りを一つずつ調べ、知ることができた
異文化の理解	A	1	相手国とコミュニケーションがとれず、そこで相手国を調べたが、ただ調べただけで理解には至っていない。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	A	1	英語で3文程度の自己紹介ビデオを作ったが、しゃべらせただけで、共感まで全然至っていない。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	3	相手国やお祭りを調べることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	2	アイデアを出し合ったり、構図を考えるときに人間関係をつくることができたが、交流相手とは全然できていない。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	自分たちで役割分担して、構図を考えたり、絵を描くことができた
学習を追究する意欲	B	2	自分から調べたりする姿はみられなかった
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	2	テーマをお互いに連絡をとって話し合えなかったため、一方的になり、伝えたいことがあやふやになった。
作品を鑑賞する力	B	3	じっくりと鑑賞できなかった。